

群馬大学工業会東京連合支部主催：『平成23年度各支部定時総会と講演会』の報告

東京連合支部では、平成23年5月28日(土)平成23年度の定時総会と講演会を繊維生物化学支部(WB)、化学材料支部(CZ)、機械建設支部(MA)、電気電子情報支部(ELJ)の4支部合同で開催した。

場所は以前にも利用したことのある品川の日立金属高輪和彊館で、台風2号の接近で悪天候にも拘らず工業会本部から戸叶常雄理事長の出席を得て総勢52名ほどとなり若手や初めて出席した方も多く大変盛況であった。

最初に、篠崎ELJ支部長の総合司会で、ご来賓の紹介と物故会員15名に対して黙祷を捧げ、三上連合支部長の挨拶に続いて総会の議長に42S重田(CZ)新支部長を選出し定時総会に移った。

平成22年度の事業報告、会計報告と平成23年度の事業計画をそれぞれの支部ごとに報告、承認を頂き30分ほどで無事定時総会を終了した。

総会終了後、戸叶工業会理事長にご挨拶を頂き、群馬大学工業会が今年90周年を迎える節目の年で、新たに一般社団法人群馬大学工業会として正式にスタートしたことが報告された。これに伴い来る平成23年6月25日(土)に栃木県小山市のベルジュ・ネ迎賓館で、これまでの『工業会通常総会』と『一般社団法人群馬大学工業会臨時社員総会』を同時に開催して、新たにスタートすることや、2015年に群馬大学が100周年を迎えるための準備状況などのお話をしていた。

15分の休憩を挟んで引き続き群馬大学工学部工学研究科長・工学部長：板橋 英之(修63C)氏による講演会を開催した。講演内容は当初、秘書の方から『環境からの重金属除去・回収技術』と伺っていたが、これまでの講演会の内容とはガラッと変わった、『地球環境と元素について(ちょっとレアアースもしゃべる)』ウルトラクイズ形式で話が始まった。地球に最も多く存在する元素の上位4つが鉄、酸素、ケイ素、マグネシウムであり、ジルコニウム、ルビジウム、ネオジウム、ガリウム・・・(レアアース)等々の元素は酸素とくっ付きやすく、あちこちに分散しているので取り出し難いとのこと。しからは大気中に存在する元素の上位4つは何か？ 窒素(78%)、酸

素(21%)、アルゴン(1%)、二酸化炭素(0.03%)で地球の温暖化に影響があるといわれている二酸化炭素はほんのわずかしが存在しない。気温上昇に寄与するのは二酸化炭素の20倍もある水蒸気であるという。

また地球は地殻、マントル、核で構成されているが、地殻の厚さはわずか17Kmである。地震国日本では、頻りに地震が起きているが、震源の深さは、10Km~40Kmとかなり深い場合がある。震源地はマントルの中で起きているのだろうか。

このようなクイズ形式の話の進め方に、いつしか皆さん引き込まれて、面白おかしくお話を聞き、あっという間に1時間が過ぎた。

総会、講演会終了後戸叶理事長、板橋英之先生を交えて、三上連合支部長の司会で和やかに懇親会を開催した。今回始めて参加した方、平成6年~10年卒業の若手も多数参加されて、徐々に若返りを図る絶好の機会になったことは大変喜ばしい。

(文責：東京機械・建設支部長 38M野尻貞夫)



戸叶理事長、板橋英之先生を交えての懇親会



初参加の方、平成卒業の若手も参加して懇親会